



2019年 6月12日  
第183号

**JR 東労組**   
**Yokohama**

**JR東労組横浜地本**

発行人 助川一実

編集 情宣部

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申第26号

## 「駅業務執行体制の再構築等」に関する申し入れ 団体交渉実施!!②

～①からのつづき～

【共通事項】

5. 施策に伴う異動については本人の意思を尊重し、強制的な異動はおこなわないこと。  
社員の運用については「任用の基準」に基づき取り扱っていく。

<組合>委託する際に出向が前提にあるのではないかと感じることもあるがどうか。

<会社>委託と同時にJESS本体でやるのが望ましい。しかし、駅の特情などスムーズな移行と技術継承を行うために出向は必要だと考えている。

<組合>出向しなくてはいけないという不安から社員のモチベーションの低下が懸念されるがどうか。

<会社>原則3年で行っている。社員の成長にもつながるのでモチベーションの低下などとは考えていない。現場長が意識付けを丁寧に行っていく。

<組合>委託のスピードにJESSが追いついていけないという声もあるがどうか。

<会社>横浜支社とJESSで連携をとっている。委託箇所については本社とJESSの本社との協議で決めている。引き続き、社員の採用もしっかりと行っていき、教育についてもきちんと行う。

<組合>施策の面談はどのように行うのか。

<会社>これまでの通常の面談と変わらない。委託に関する勉強会も実施している。

<組合>東戸塚駅の朝通対はテンポラリースタッフを活用しているが委託後も変わらないのか。

<会社>委託後もJESSでテンポラリースタッフと同じような社員を配置予定で現行と変わらない予定である。

【大船駅】

1. 現在北口で列車の遅れなどを信号所から情報提供を受けて放送しているが業務委託後の異常時情報の共有やお客さまへの周知方法をどのようにするのか示すこと。

これまでと同様である。

<組合>現在、異常時情報は北改札で行っているが委託後はどうなるのか。

<会社>委託後も北改札が主に担当する。北改札の業務として放送案内がある。忙しい時にはお互いに協力して案内放送を行う。現状と変わらない。

2. 北口改札（笠間口）の開閉作業について対応を示すこと。また、その時にトラブル発生した際の取扱いについて示すこと。

これまでと同様である。また、異常時には速やかに関係箇所へ連絡を行い、必要な対策をとることとなる。

<組合>シャッター閉めを現行と同じ体制の場合、鍵のやり取りがあるが委託後はどのようにするのか。

<会社>設備自体は本体で管理している。現行と変わらない体制で行う。鍵の授受については鍵の授受簿を作成して行うか鍵管理機から直接取れるようにすることを検討している。現在、調整中である。

<組合>行政側が管理しているシャッターの異常はどのように対応するのか。

<会社>行政との窓口はJR本体であり、JR本体で連絡し対応する。駅の勉強会では周知済みである。

3. 終電の合図出しはどのように行うのか示すこと。

これまでと同様である。

**以上を持って交渉は終了しました。  
今後、組合員とともに委託後の検証行動を進めていきます。**